



秋田県立栗田支援学校
令和元年度 公開研究会の御案内（二次案内）

研究主題

学びを実感できる授業づくり
～学ぶ姿に着目した授業研究を通して～

秋冷の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では「学びを実感できる授業づくり～学ぶ姿に着目した授業研究を通して～」を研究主題に掲げ、2年計画で研究を進めております。本研究では、児童生徒が学びを実感できる授業をいかに実現するかという「授業づくり」と、「授業づくり」の基盤となる、教師が児童生徒の学びをよりの確に見取る力を高める「授業研究」に力を入れて取り組んでおります。

1年目となる今年度は、広島大学の竹林地毅先生を講師にむかえ「学びを実感できる授業づくり」についての御講演をいただき、研究の推進に努めて参りたいと考えております。

御多用中のこととは存じますが、多くの皆様に御参会いただき、御助言を賜りたく御案内申し上げます。

令和元年10月

校長 千葉 雅樹

期日 令和元年12月10日（火）

会場 秋田県立栗田支援学校

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

日程

日 程	
8:40～	受付
9:00～ 9:20	開会行事・全体会 全校研究の概要説明
9:30～11:00	提案授業 ○小学部1年 国語科 9:30～10:15 ○中学部1年 生活単元学習 10:10～11:00 ○高等部普通科作業学習 陶芸班 9:30～11:00 ○高等部環境・福祉科 流通・サービス科清掃コース 9:30～11:00
11:05～11:30	作業学習製品等販売会 カフェくりた営業 新屋うどん試食及び取組紹介 寄宿舍の取組のポスター発表
11:30～12:30	昼食・休憩
12:30～14:10	分科会（学部研究説明・授業協議）
14:20～16:00	講演
16:00～16:10	閉会行事

学部／学科研究及び提案授業

各学部／学科の研究テーマのもと、児童生徒が主体的に学習に向かい、学習を通して自分自身の変容に気付くことで、次時への意欲につながるような学びの実感のある授業づくりを目指します。また、授業後の分科会における協議では、児童生徒が何を、どのように学んでいるかという「学ぶ姿」に着目し、児童生徒の学びの事実をもとに協議を重ね、授業改善を目指します。

小学部研究テーマ

「児童が相手に思いを伝えようとする姿を育む授業づくり ～国語科における授業改善をとおして～」

学部研究概要

小学部では、相手に思いを伝えようとする姿をより多く引き出すために、国語科の授業改善に取り組んでいます。児童の実態と国語科の目標や内容を照らし合わせて「何をどのように学ぶか」を明確にした指導計画の立案、児童の思考を促し、学ぶ意欲を引き出すような教材や発問、児童が「できた！分かった！」という成就感や達成感を味わえる場面や手立てを工夫しています。提示授業では、日常生活や体験した事柄との関連を図りながら、テーマに関して児童が自分から話す姿を引き出していきます。

提案授業 小学部 1年 国語科	授業者	指導助言者
たくさんはなそう	筒井 清子	秋田県教育庁特別支援教育課 指導主事 菊地真理 氏

中学部研究テーマ

「生徒が『本時の学び、学びのつながり』を実感できる授業づくり

～自分の学びをファイルする学習評価のあり方に焦点をあてて～」

学部研究概要

中学部では、生徒が本時のめあて（学習課題）を自覚し、思考や試行を繰り返した過程を振り返り、生徒自身や他者からの評価を積み重ねていくことで、次につながる主体的な学びを実感できるような授業づくり、授業改善に取り組んでいます。提示授業では、学年試食会に向けたPR活動用のチラシ作りの活動を通して、前時の調理活動を振り返ります。「伝えたい」という気持ちをサポートしながら、味や工夫点について友達の意見や感想を聞いてまとめられるように支援を工夫しています。

提案授業 中学部 1年 生活単元学習	授業者	指導助言者
中1おらほのうめものプランニング ～学年試食会でおらほのオリジナル料理を紹介しよう (1組「ピザ」)～	会場 友美 高橋 公	秋田県教育庁特別支援教育課 指導主事 近江龍静 氏

高等部普通科研究テーマ

「生徒が自分で考え、判断し、活動する姿を目指した授業づくり

～『分かった』『できた』が感じられる手立ての充実～」

学部研究概要

高等部普通科の教育課程における中心的な指導の形態である作業学習を対象授業として取り組んでいます。本校では卒業後の進路に応じ3つコースを設定しています。作業学習においては、1つの作業班に3つのコースの生徒が在籍しており、同じ作業工程を担当しながらも、活動内容や方法を工夫することで、卒業後の進路実現につながる個々のねらいの達成を目指しています。提示授業では、生徒自身が主体的に考え、判断し、活動する姿を目指し、個々の生徒が「分かった」「できた」が感じられるよう、「めあて」に対する評価の場面や方法を工夫しています。

提案授業 高等部 作業学習	授業者	指導助言者
陶芸班 ランチくりたへの納品 ～どんぶり、箸置きと一品皿の製作～	伊藤 陽子 他3名	秋田県教育庁特別支援教育課 主任指導主事 清水 潤 氏

高等部環境・福祉科研究テーマ

「他者を思い、思考（試行）する姿を目指した授業づくり

～志向を高め、思考し、試行できる学習活動の構成～

学科研究概要

教育課程の中心となっている専門教科において、生徒が意識・意欲を高められる学習課題の設定、思考しやすいポイントの提示、自分の思考に基づいて試行できる場を設けた学習活動の構成を通し、責任感や思いやりといった人間性、自ら思考しよりよい方向に選択・判断できる力を高める授業を目指します。提示授業では、「安全に」「時間内に」を課題に、生徒が主体的に役割や段取りを考え、互いに意思疎通を図りながらポリッシャー清掃を行います。

提案授業 流通・サービス科	授業者	指導助言者
清掃コース 校内清掃実習 ～ランチくりたポリッシャー清掃Ⅱ期～	後松慎太郎 原田 恵	秋田大学教育文化学部 准教授 前原 和明 氏

寄宿舎ポスター発表

寄宿舎研究テーマ「将来の生活を見据えた「食を通して身に付く力」を育てる生活指導」

将来の社会生活や日常生活などで必要な6つの力（挨拶、時間厳守、協力、衛生面、健康管理、思いやり）の育成を目指した「セルフ配膳」と「生徒主体のティータイム」の実践を紹介します。

作業学習製品販売・カフェくりた営業・新屋うどんの試食

作業学習製品の販売、環境・福祉科によるカフェの営業の他、環境・福祉科で取り組んでいる新メニュー「新屋うどん」の試食・取組発表も行います。

講演

演 題 「学びを実感できる授業づくり」

講 師 広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座

准教授 竹林地 毅 先生

竹林地先生の御紹介

昭和54年より広島県立呉養護学校教諭、昭和59年より国立広島大学附属東雲小学校教諭（平成2年より学校教育学部非常勤講師）、広島県立教育センター指導主事などを経て、平成12年より国立特殊教育総合研究所知的障害教育研究部重度知的障害教育研究室長、独立行政法人国立特殊教育総合研究教育支援研究部総括主任研究官を務められました。その後、広島県教育委員会事務局特別支援教育課長などを歴任し、現職に就かれております。

竹林地先生からは、知的障害のある児童生徒が主体的に学ぶとは、そのための授業づくりはどうあるべきかについて、授業の講評を頂きながら御講演いただきます。

【参加申込み】

- ・別紙参加申込書に御記入の上、11月22日（金）までFAXでお申し込みください。

【昼 食】

- ・希望される方には、「中学部アイディア100%弁当」を御用意いたしますので、参加申込書に御記入ください。

（当日、代金500円を集金いたします。）

中学部アイディア100%弁当 弁当の引換 11時30分～ 体育館前

中学部では、平成28年度から平成30年度まで、生活単元学習で、新屋の商店街を歩き、興味をもった食材や商店街の方からの助言を基に、おにぎりや味噌汁、おかずを学級の友達と考えながら作る学習をしてきました。今回の弁当のおかずは、生徒たちが何度も試して作り、改善を重ねてきた3種類です。秋田米飯給食事業協同組合とイオンマックスバリュの御協力の下、作っています。

【会場までの御案内】

路線バス（秋田駅西口前または中央交通新屋案内所）

- ☆新屋西線 栗田神社前下車
（徒歩7分）
- ☆新屋西線 [栗田県住経由] 栗田町下車
（徒歩1分）
- ☆新屋線 美術大学前下車
（徒歩15分）

JR

- ☆羽越本線 新屋駅下車
（徒歩35分、タクシー7分）



【問合せ先】

秋田県立栗田支援学校

教 頭 高田屋陽子
研究主任 北島 珠水

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町10-10
TEL: 018-828-1162
FAX: 018-828-4720
Mail: kurita-s@akita-pref.ed.jp

F A X 送 信 票

令和元年 月 日

受信者	秋田県立栗田支援学校 教諭 北島 珠水 行 FAX 018-828-4720	
送信者	所属機関名	
	氏 名	
	電話番号	

令和元年度 秋田県立栗田支援学校 公開研究会 参加申込書

※「参観・参加希望」「弁当注文」「自家用車使用」欄は該当するものを○で囲んでください。

※授業参観、講演のみ希望の方は参観・参加希望欄にその旨をお書きください。

職 名	氏 名	参観・参加希望	弁当注文	自家用車 使用
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科	注文する 注文しない	有・無
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科	注文する 注文しない	有・無
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科	注文する 注文しない	有・無
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科	注文する 注文しない	有・無

※令和元年11月22日（金）まで、この用紙のみを送信してください。

